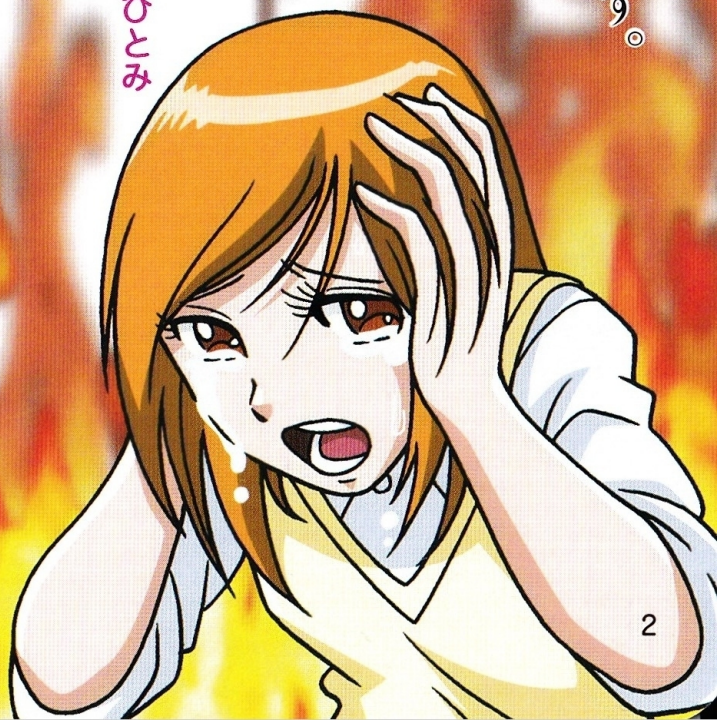
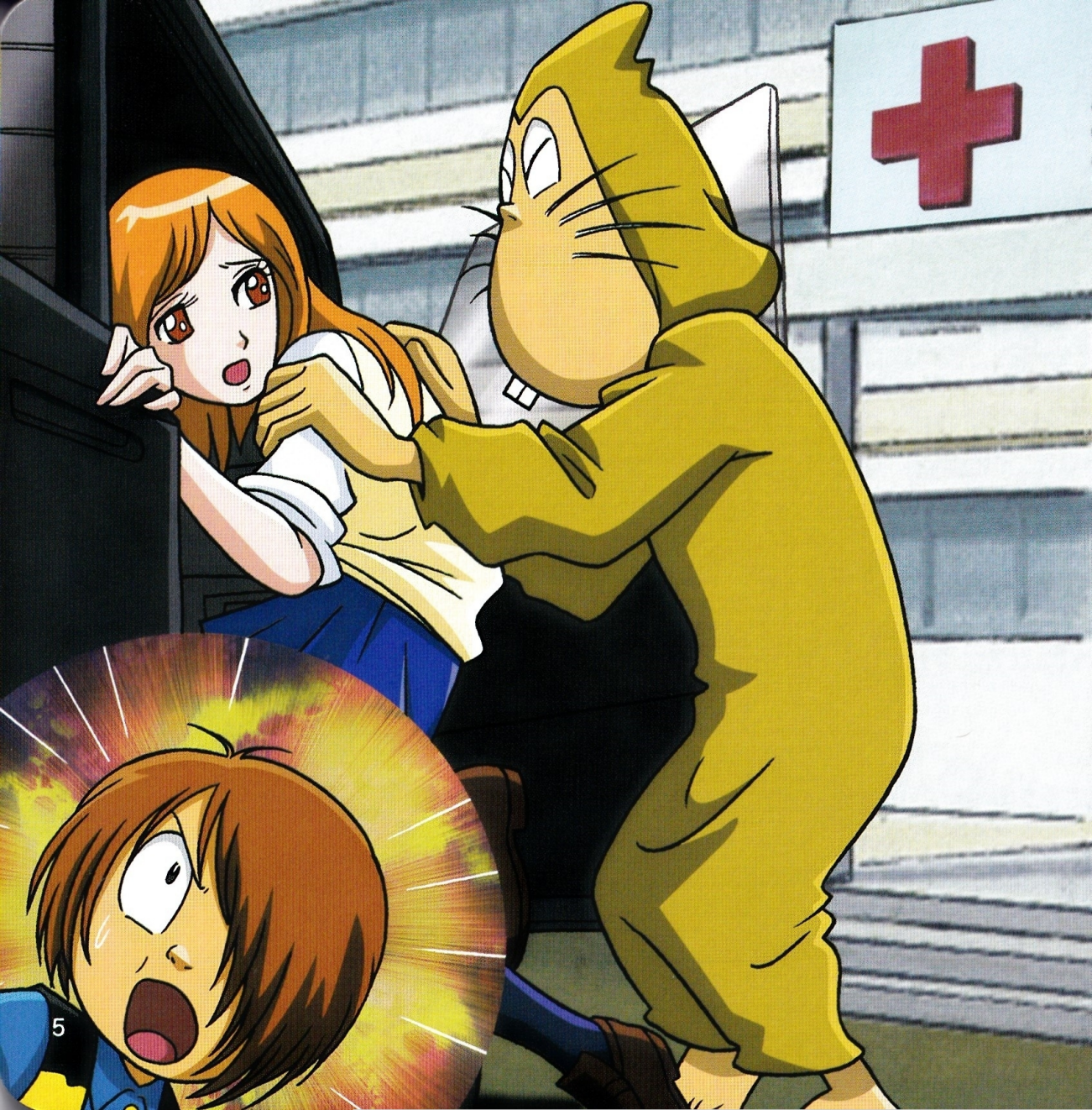
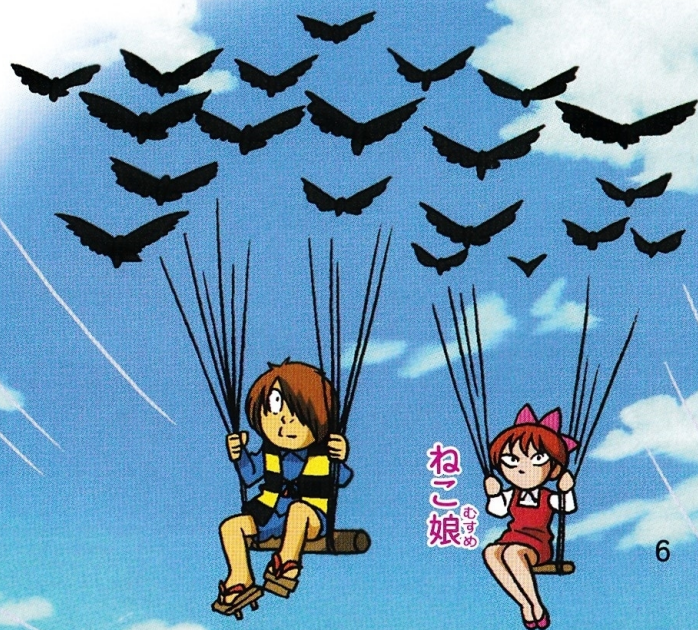
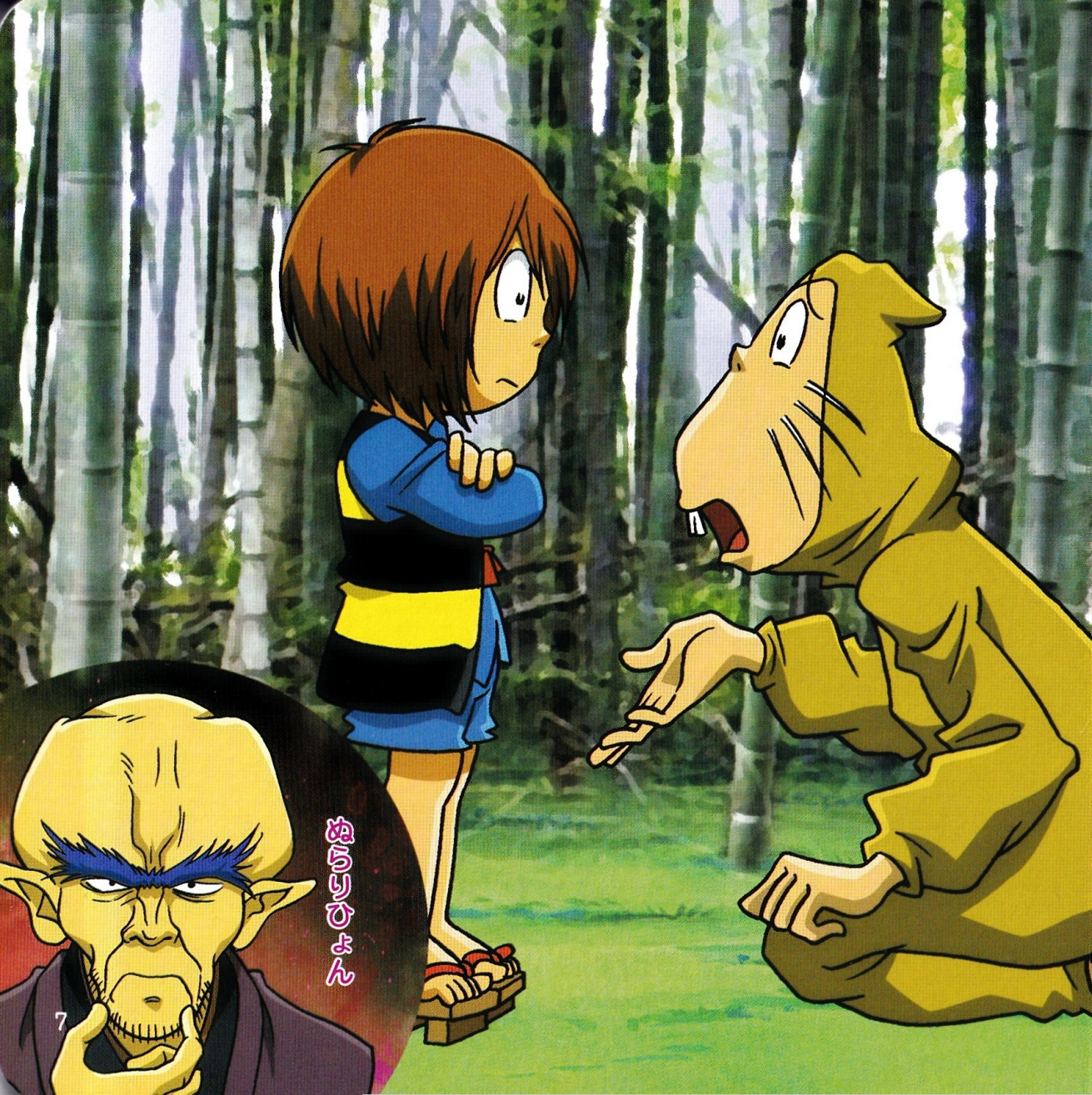
講談社のテレビ絵本 1412
おともだち
よみきかせ絵本シリーズ17
ゲゲゲの鬼太郎
妖怪大決戦!

あたりは火のうみです。
あつくて、
くるしくて、ひとみは
にげまどっていました。
「きゃあ〜〜〜！」
ひとみめがけて、
焼けた看板が
おちてきました。
「リモコンげた！」
とんできたげたが、
すんでのところで、
看板をはねかえします。
ゲゲゲの鬼太郎です。

鬼太郎（きたろう）

ところが、
鬼太郎よりさきに、
ねずみ男がひとみに
かけよります。
ねずみ男は、
ひとみを車におしこんで、
つれさってしまいました。

「たすけなきゃ！」
鬼太郎は、
なかまをよびました。
ねこ娘に、ねずみ男のにおいを
さがしてもらい、
からすたちにつれていってもらいます。

鬼太郎とねこ娘は、
竹林におりたちました。
「ねずみ男！
どうしてこんな
ことをしたんだ!?」
ねずみ男は、いきなり
土下座をして、
あやまります。
「すまねえ！
おまえをおびきだせって、
あいつにおどされて……。」
竹林のおくからあらわれたのは、
ぬらりひょんでした。

ぬらりひょん

「くたばれ！
鬼太郎！」

ぬらりひょんは、
蟹坊主にのって、
ばくやくをばらまきます。

蟹坊主は、
大きなはさみを
ふりまわします。

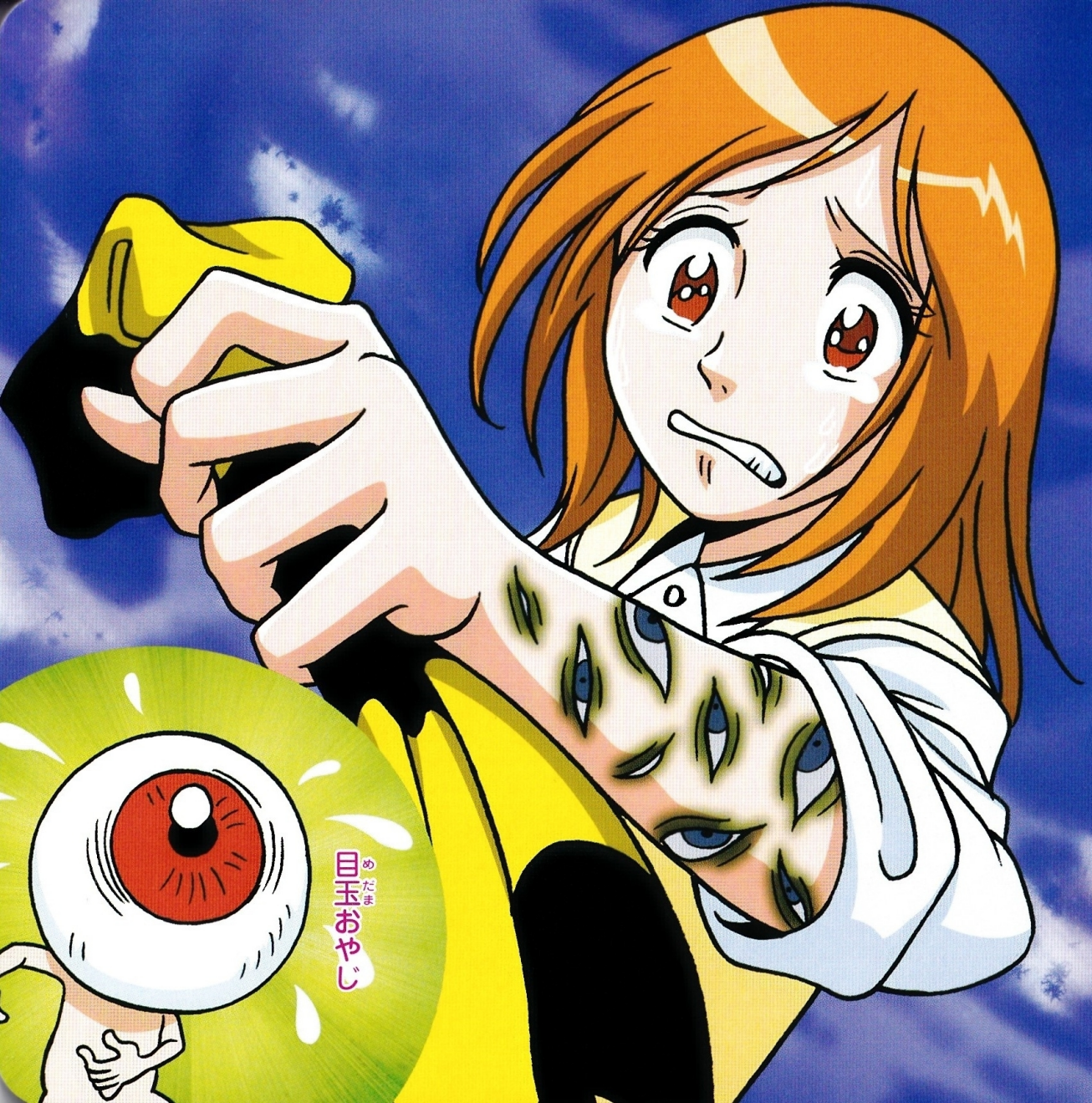
旧鼠もとびだしてきて、
ひとみにせまります。

「ひとみさん、あぶない！」

鬼太郎は、ひとみのかわりに、
旧鼠にかまれてしまいました。

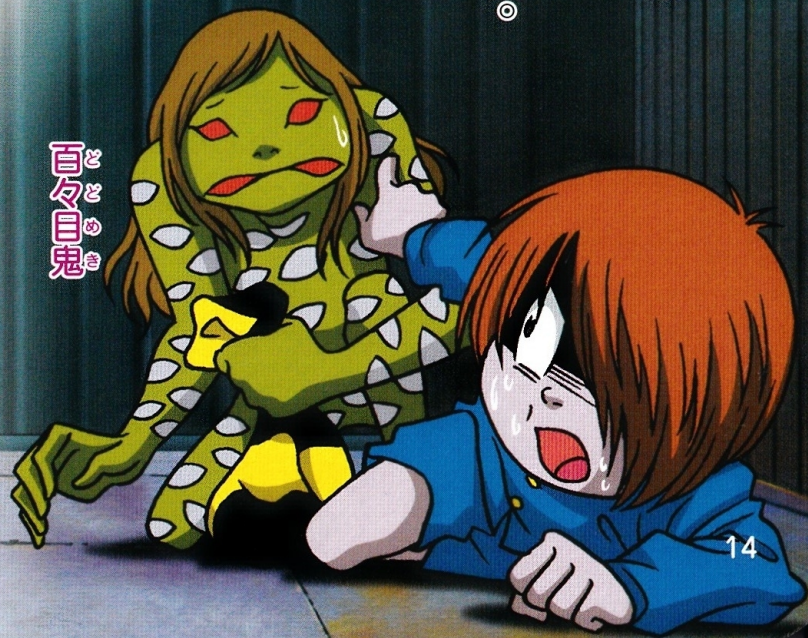
旧鼠（きゅうそ）

鬼太郎の体に、
旧鼠の毒が
しみこんできます。
それでも、鬼太郎は、
みんなのために、
敵にむかいます。
蟹坊主の足にしがみつき、
「体内電気……ぜんかいっ！」
鬼太郎がはなった電気で、
ぬらりひょんたちがしびれます。
「うがががががががっ！」
このすきに、だっしゅつです。

山の中のちいさな小屋に、
鬼太郎たちはかくれました。
　毒がまわり、鬼太郎の体は、
もうごかなくなっていました。
　そのとき、ひとみが、鬼太郎の
ちゃんちゃんこをうばいました！
「どうしても、わるいことが
やめられないの……。
それでわたしは……。」
　ひとみの体に、ひとつ、
またひとつと、目がひらきます。
「おまえは百々目鬼じゃな！」
「ひとみさんが……妖怪!?」

目玉おやじ

そこへ、ぬらりひょんが
のりこんできました。
「きみだけでもにげろ……。
きっと……きみは
やりなおせる。」

鬼太郎のことばに、
百々目鬼の心が、
ゆれうごきました。
けれど、ぬらりひょんには、
さからえません。

鬼太郎は、コンクリートに
おとされ、しずんでいきました。

不死身の鬼太郎も、
ついに死んで
しまったのでしょうか？
そんなはずはありません。
にげかえったちゃんちゃんこが、
鬼太郎に霊力をそそぎこみます。
「鬼太郎をまもるんじゃ！」
ねこ娘、ぬりかべ、一反もめん、
子泣きじじい、砂かけばばあ——。
鬼太郎のなかまたちが、
ぬらりひょんにたちむかいます。

一反もめん
子泣きじじい
砂かけばばあ
ぬりかべ

ぬらりひょんは、
ずっと鬼太郎の
いのちをねらって
いました。

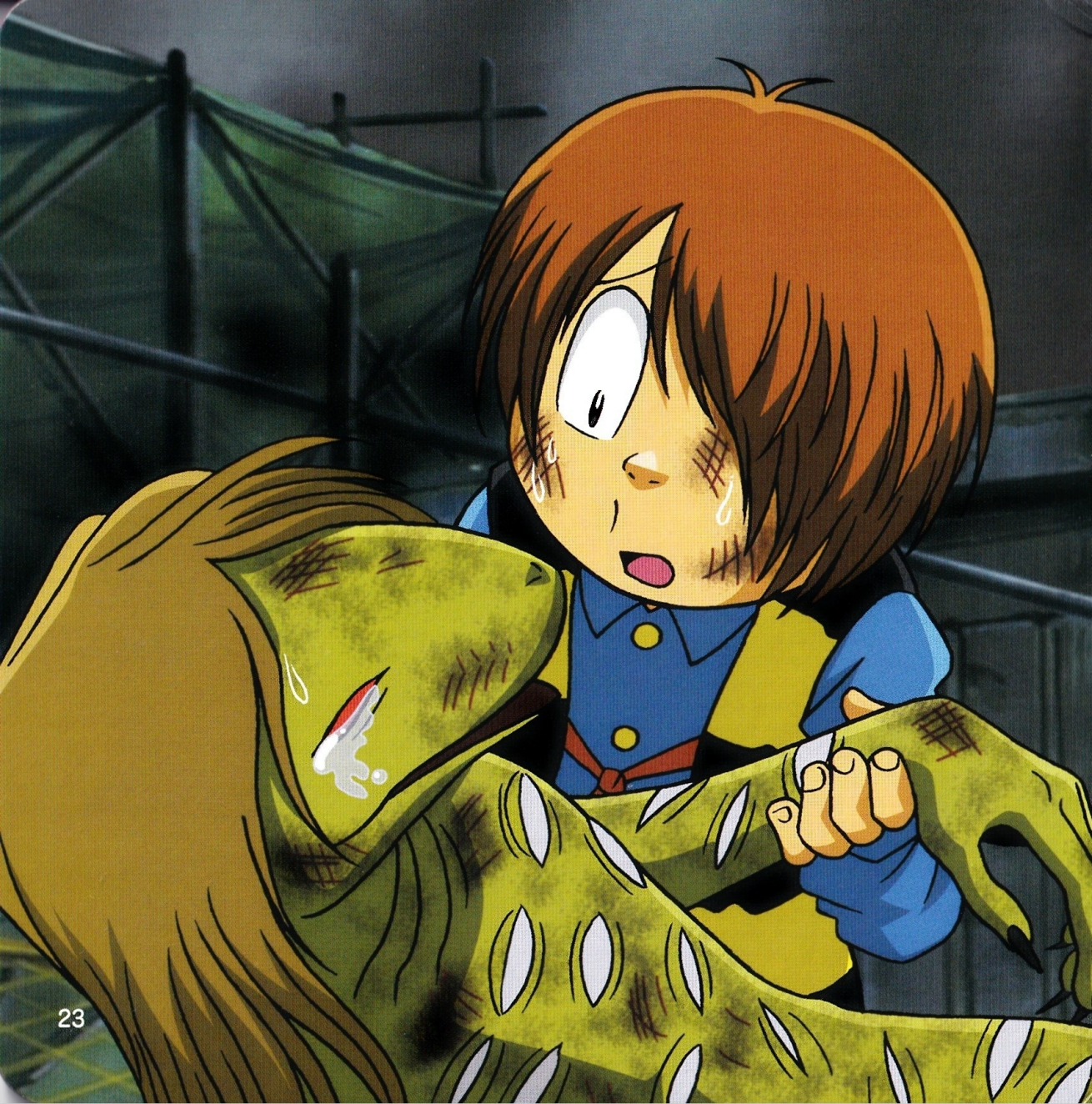
「いまさら、
いきかえらせて
なるものか！　どけ！」

みんなをなぎはらい、
ぬらりひょんは、まだうごけない
鬼太郎を、ばくげきします。

「やめて〜〜！」

鬼太郎をかばって、炎につつまれたのは、
百々目鬼でした。

「このばかが。こんどこそ！」
ぬらりひょんは、鬼太郎に、剣をふりおろしました。
ぴんとたった鬼太郎のかみの毛が、剣をうけとめます。
鬼太郎が、目をさましました！
「にどとぼくにかおを見せるな！」
鬼太郎は、かみの毛をひきぬき、刀のようにかたくして、ぬらりひょんにたたきつけます。
「ぎゃああああああ！」

ぬらりひょんが
にげていきます。
たおれている
百々目鬼を、鬼太郎は
だきおこしました。
「どうしてぼくをかばったの？」
百々目鬼は、ほほえみました。
「やりなおせる……なんて、
はじめて言われたから……、
おかしくなっちゃったのかな……。」
鬼太郎やみんなにみまもられながら、
百々目鬼はもえつきました。

にぎやかな妖怪横丁に、
鬼太郎たちは
かえってきました。

「げんきをだせ。
鬼太郎がこんなでは、
百々目鬼もかなしむ。」

目玉おやじにはげまされて、
鬼太郎にやっと笑みがもどります。

「ぬらりひょんは、
かならずたおすからね。
ひとみさん、ありがとう。」

（おわり）

ISBN978-4-06-344412-4
C9474 ￥380E (0)

雑誌　63936—96
講談社のテレビ絵本 1412
おともだち よみきかせ絵本シリーズ 17
ゲゲゲの鬼太郎
妖怪大決戦！

絵／東映アニメーション　文／与口奈津江
装丁・本文デザイン／竜プロ　構成／ケイボスプランニング

平成19年6月29日　第1刷発行

■発行者／野間佐和子
■発行所／株式会社　講談社
■東京都文京区音羽2-12-21（〒112-8001）
■電話／編集部（03）5395-3489
販売部（03）5395-3625
業務部（03）5395-3603
■印刷／図書印刷株式会社
■製本／図書印刷株式会社
Printed in Japan

定価399円（税5％）
本体380円